

令和4年度行政評価 施策評価シート (令和3年度実績)

施策名 市営住宅の整備

施策コード 5060402

1. 施策の担当	
主管課	都市整備部 建築住宅課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第6章 快適で住みやすいまちづくり (快適・憩い・生活基盤)	節 第4節 住宅
	施策	市営住宅の整備	

**基本方針**

- ・ 老朽化した市営住宅の建替えを行うことにより、災害に備えた町並みの形成や地域の核となる空間の創造に寄与する市営住宅の供給を進めます。
- ・ 市営住宅の管理について、必要に応じて民間委託を進めます。

**現況と課題**

- ・ 老朽化した市営住宅の建替えについては、子育て世代、高齢者、障がいのある人など入居者の世帯構成やニーズの多様化に対応した、安全で、安心できる住宅が求められています。
- ・ 入居者への対応を充実させるため、家賃等の集金及び日常の簡単な修理等の民間委託が必要となっています。

**施策目標**

対象 (誰を、何を、どこを)

市民

**意図 (どのような状態にしたいのか)**

高齢者や障がいのある人をはじめ、あらゆる人が安全快適に生活できる住宅の供給。

3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度 (偏差値)	50.4						
重要度 (偏差値)	30.6						

4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	人件費	単位	R2決算	R3決算				
	事業費	千円	68,966	71,480				
財源内訳	フルコスト		66,493	65,467				
	国庫支出金	千円	135,459	136,947				
財源内訳	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		165,475	170,657				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		-30,016	-33,710				
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		-98,982	-105,190				

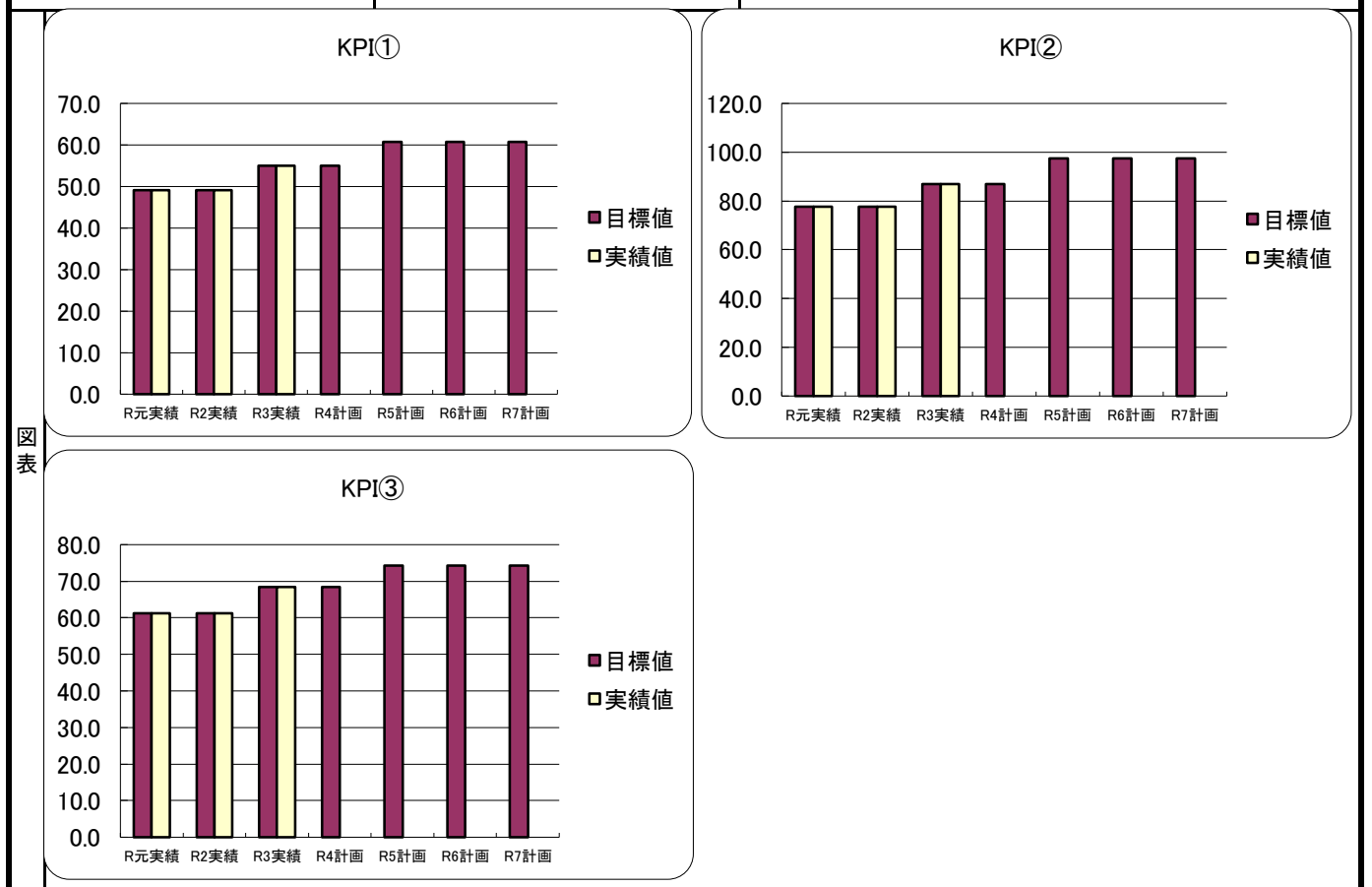
5. 施策の重要業績成果指標 (KPI)							
① KPI 1		エレベーター設置によるバリアフリーアクセス住戸の割合					
項目	R元実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5計画	R6計画	R7計画
目標値	49.1	49.1	55.0	55.0	60.8	60.8	60.8
実績値	49.1	49.1	55.0				
達成度	100.0	100.0	100.0				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
この割合が高まっていることで、子育て世帯や高齢者、障害のある人など入居者の多様化に伴う対応が来ていることが、確認できます。		令和元年度から令和5年度までの目標値は公営住宅等長寿命化計画に基づき設定しています。			市営松原第三団地住宅及び市営中庄団地住宅の用途廃止に伴い実績値が上昇しています。		

② KPI 2		浴室設置住宅の割合					
項目	R元実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5計画	R6計画	R7計画
目標値	77.7	77.7	86.9	86.9	97.4	97.4	97.4
実績値	77.7	77.7	86.9				
達成度	100.0	100.0	100.0				

KPI設定の根拠	KPI目標数値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
要望が多い浴室設置住宅の割合を指標とすることで、ニーズに対応した住宅の供給状況が確認できます。	令和元年度から令和5年度までの目標値は公営住宅等長寿命化計画に基づき設定しています。	市営松原第三団地住宅及び市営中庄団地住宅の用途廃止に伴い実績値が上昇しています。

③ KPI 3		市営住宅の耐震化率					
項目	R元実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5計画	R6計画	R7計画
目標値	61.2	61.2	68.5	68.5	74.3	74.3	74.3
実績値	61.2	61.2	68.5				
達成度	100.0	100.0	100.0				

KPI設定の根拠	KPI目標数値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
この割合が高まっていることで、市営住宅の安全性の向上が確認できます。	令和元年度から令和5年度までの目標値は公営住宅等長寿命化計画に基づき設定しています。	市営松原第三団地住宅及び市営中庄団地住宅の用途廃止に伴い実績値が上昇しています。



6. 施策の事後評価			
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>4</b>	建替計画について泉佐野市都市計画マスタープラン及び泉佐野市営住宅長寿命化計画に基づき設定している。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) <b>2</b>	空家入居者募集において新耐震基準を満たす住棟への入居希望者数は毎年募集戸数を上回っており、市民ニーズは高い。 H30年度市民アンケート調査の満足度(偏差値)は50.4となりH24調査と比べ低下している。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) <b>2</b>	公営住宅の応募倍率は全国平均3.5倍と高水準である一方、住棟毎の立地・設備要件によるニーズ格差は拡大している。当市においても老朽化した住棟については、市民ニーズを考慮したうえで用途廃止や建替を進め、市営住宅の量的縮小を図りながら住宅の供給を行うことが重要である。
	合計点	(10点中) <b>8点</b>	
	総合評価	<b>B</b>	平成21年度までの建替事業が計画通りに進んだ後、財政健全化計画の見直しにより事業を中断したが、平成28年度より鶴原団地住宅(1~5棟)建替事業に着手し、鶴原団地住宅2棟を平成30年度に竣工したことにより実績値が上昇している。今後は長期活用を図るべき住棟について、予防保全の観点から、長寿命化計画に基づく中長期的な維持管理計画が必要不可欠である。
二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)	<b>B</b>	施策をより適正に評価できる新たな指標の追加等を検討すること。	
三次評価(理事者による評価)	<b>B</b>	施策をより適正に評価できる新たな指標の追加等を検討すること。	

7. 施策を構成する事務事業							
	予算コード	事務事業名	R3年度決算額			R4年度予算	一次評価
			人件費	事業費	一般財源		
1	01042900	市営住宅管理事務事業	48,921	5,754	-141,155	0	B
2	01043000	市営住宅施設管理事業	22,559	59,713	35,965	0	B
合計			71,480	65,467	-105,190	0	